

ドジョウの仲間



イシドジョウ

5点

- 川の上流に生息
- 尾びれの付け根は幅が広い
- 県内では東部に分布するが少ない



ヤマトシマドジョウ

4点

- 川の中流に生息
- 尾びれの付け根の黒点は2つ
- 県内には広く分布する



スジシマドジョウ類

5点

- 川の中流から下流に生息
- 尾びれの付け根の黒点は1つ
- 福岡県には複数種が分布する



ドジョウ

4点

- 水路や水田に生息
- 口ひげは10本でしま模様はない
- 県内には広く分布するが少ない

ナマズの仲間



ナマズ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 口ひげは4本(ただし稚魚では6本)
- 県内には広く分布する



アカザ

5点

- 川の上流に生息
- 体は赤く、胸びれや背びれに棘がある
- 県内には広く分布するが少ない



アリアケギバチ

5点

- 川の中流に生息
- 黒と黄色の模様で、口ひげは8本
- 県内では西部に分布するが少ない



ギギ

5点

- 川の中流に生息
- 黒と黄色の模様で、口ひげは8本
- 県内では東部に分布する

スズキの仲間



オヤニラミ

5点

- 川の中流に生息
- 体に赤いすじ模様がある
- 県内には広く分布するが少ない



オオクチバス

1点

- 通称ブラックバス
- 口は大きく、体には黒い模様がある
- 北アメリカ原産で特定外来生物



カムルチー

1点

- 通称ライギョ
- 独特のまだら模様をもつ
- 中国大陸原産の国外来種



ブルーギル

1点

- 川の下流やため池に生息
- えらぶたに青い模様、体にしま模様をもつ
- 北アメリカ原産で特定外来生物



ドンコ

2点

- 川の上流から下流に広く生息
- 頭が大きく、ゆっくりと動く
- 県内ではふつうにみられる



ヨシノボリ類

3点

- 川の上流から下流に生息
- 腹びれは吸盤状
- 県内には複数種が分布する



カジカ

5点

- 川の上流に生息
- ドンコに似るが上あごが突き出す
- 県内では西部に分布するが少ない

その他の仲間



ミナミメダカ

3点

- 川の下流や水路に生息
- 尻びれの幅は長い
- 県内には広く分布する



カダヤシ

1点

- 川の下流や水路に生息
- メダカに似るが尻びれの幅は短い
- 北アメリカ原産で特定外来生物



ニホンウナギ

4点

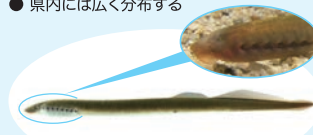
- 川の中流から下流に生息
- 細長い体をしている
- 県内には広く分布する



ヤマメ

4点

- 川の上流に生息
- だ円形の斑紋が並ぶ
- 県内には広く分布する



スナヤツメ

5点

- 川の上流から中流に生息
- 7個のえら穴が目立つ
- 県内には広く分布するが少ない

福岡県の淡水魚

～魚を使った環境しらべ～

とれた魚の種類ごとの点数を合計し、とれた種類数でわって平均点を計算します。平均点数が高いほど魚にとって良い環境ですが、大まかには下記の値を参考にしてください。

3.0以上だったら (I) とても豊かな自然が残る環境

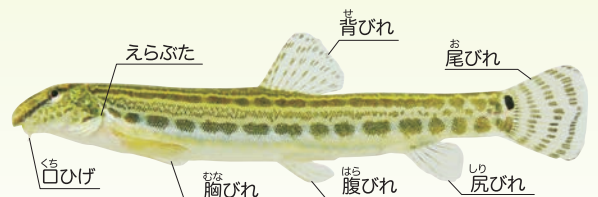
2.5-2.9だったら (II) 豊かな自然が残る環境

2.0-2.4だったら (III) 自然が失われつつある環境

1.9以下だったら (IV) 自然がかなり失われた環境

平均点数が

同じ種類の魚をたくさんとっても得点は変わりません。例えば、メダカを10匹とっても1匹とっても得点は3点で計算します。できるだけ色々な種類の魚をつかまえて計算してみましょう。



魚の体 各部分の名称

【編集】福岡県保健環境研究所 環境生物課 【発行】福岡県環境部自然環境課

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

福岡県の淡水魚

ハヤの仲間



オイカワ

2点

- 川の中流から下流に生息
- メスや子供は銀色、口先が赤い
- 県内ではふつうにみられる



カワムツ

2点

- 川の上流から中流に生息
- 腹びれや尻びれは黄色い
- 県内ではふつうにみられる



ヌمامツ

4点

- 川の下流や水路に生息
- カワムツに似るが腹びれは赤い
- 県内では東部、南西部に分布する

外来種



タカハヤ

3点

- 川の上流に生息
- むめっとした体をしている
- 県内ではふつうにみられる



ハス

1点

- 川の中流から下流に生息
- かぎ状の大きな口をもつ
- 琵琶湖淀川水系原産の国内外来種



カワバタモロコ

5点

- 止水の水路に生息
- 最大5センチ程度で、体はたてに平たい
- 県内では西部に分布するが少ない



ヒナモロコ

5点

- 水路に生息
- 最大6センチ程度
- 日本では福岡県にのみ分布し、少ない

タナゴの仲間



ヤリタナゴ

4点

- 川の下流に生息
- 口ひげが目立ち、オスの尻びれは赤い
- 県内には広く分布する



アブラボテ

4点

- 川の中流に生息
- 口ひげが目立ち、オスの尻びれは黒い
- 県内には広く分布する



カネヒラ

4点

- 川の中流から下流に生息
- オスの背びれと尻びれは桃色
- 県内には広く分布する



セボシタビラ

5点

- 川の中流から下流に生息
- オスの背びれは赤く、尻びれは白い
- 県内では西部に分布するが少ない



ニッポンバラタナゴ

4点

- 川の下流や水路に生息
- オスは全身が桃色になる
- 県内には広く分布する



カゼトゲタナゴ

5点

- 川の中流に生息
- 青いラインが背びれの前まで伸びる
- 県内には広く分布する

カマツカの仲間



ムギツク

4点

- 川の中流に生息
- 黒いラインが目立つ
- 県内には広く分布する



モツゴ

2点

- 川の下流や水路に生息
- 口はとがり、体は銀色
- 県内には広く分布する



イトモロコ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 口ひげがあり、体は銀色
- 県内ではふつうにみられる



カワヒガイ

4点

- 川の中流から下流に生息
- 口は小さく、下を向く
- 県内では西部に分布する



カマツカ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 顔はとがり、口ひげがある
- 県内ではふつうにみられる



ゼゼラ

3点

- 川の中流から下流に生息
- 口は小さく、ひげはない
- 県内には広く分布する

コイ・フナの仲間



ギンプナ

2点

- 川の中流から下流に生息
- 口ひげはない
- 県内ではふつうにみられる



コイ

1点

- 川の中流から下流に生息
- よく目立つ口ひげを持つ
- 県内ではふつうにみられる



ゲンゴロウプナ

1点

- 川の中流から下流に生息
- 他のフナより体高がある
- 琵琶湖淀川水系原産の国内外来種



ツチフキ

4点

- 川の下流や水路に生息
- カマツカに似るが口は小さい
- 県内には広く分布する